

X M L コ ン ソ ー シ ア ム

第 7 回 総 会

議 案 書

2007 年 6 月 8 日 (金)

於 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

目 次

第 1 号議案 2006 年度活動報告の件	
・ 活動実績	1-1
第 2 号議案 2006 年度収支報告の件	
・ 収支計算書.....	2-1
・ 貸借対照表・財産目録.....	2-2
・ 監査報告書.....	2-3
第 3 号議案 会員規約改定の件	
・ 会員規約改定について.....	3-1
第 4 号議案 2007 年度活動計画承認の件	
・ 2007 年度活動方針.....	4-1
・ 2007 年度年間主要活動計画	4-3
第 5 号議案 2007 年度予算計画承認の件	
・ 予算計画	5-1
第 6 号議案 2007 年度 理事 / 監事選任の件	
・ XML コンソーシアム役員構成.....	6-1

第 1 号議案

2006 年度活動報告の件

XMLコンソーシアム

1. 活動実績

1. 会員数 : 2007年3月31日 法人会員:167 会員(特別会員1 会員を含む)
 学生会員: 1 会員
 2007年6月8日 法人会員:161 会員(特別会員1 会員を含む)

2. 活動実績

1) 総会開催

・第6回総会

開催日時 2006年6月1日
 開催会場 東京コンファレンスセンター・品川
 参加者数 79社 132名

2) 理事会開催 : 開催 4回、ML 審議 12回 (2007年4月以降を含む:以下同様)

2006年4月度(ML 審議)	2006年4月度(2)(ML 審議)	2006年5月度(ML 審議)
2006年5月22日	2006年6月1日	2006年7月度(ML 審議)
2006年10月度(ML 審議)	2006年11月度(ML 審議)	2006年12月度(ML 審議)
2007年1月度(ML 審議)	2007年2月8日	2007年3月度(ML 審議)
2007年3月度(2)(ML 審議)		

 2007年4月度(ML 審議) 2007年5月度(ML 審議) 2007年6月8日

3) 運営委員会 : 開催 12回、ML 審議 12回

2006年4月13日	2006年5月11日	2006年5月度(ML 審議)
2006年5月度(2)(ML 審議)	2006年6月度(ML 審議)	2006年7月13日
2006年8月度(ML 審議)	2006年9月14日	2006年10月12日
2006年10月度(ML 審議)	2006年10月度(2)(ML 審議)	2006年11月9日
2006年11月度(ML 審議)	2006年12月14日	2007年1月18日
2007年1月度(ML 審議)	2007年2月8日	2007年2月度(ML 審議)
2007年3月8日		

 2007年4月12日 2007年4月度(ML 審議) 2007年5月10日
 2007年5月度(ML 審議) 2007年5月度(2)(ML 審議)

4) セミナー開催 : 5回

- ・部会紹介セミナー(1回) 2006年6月28日
 ・XML コンソーシアムセミナー(4回) 2006年7月25日、8月31日、10月4日
 2007年1月23日

・延べ参加者数

総数	302社 469名
会員	191社 328名
非会員	107社 136名
プレス	4社 5名

参照 付属資料 1. セミナー、部会活動成果発表開催実績

5) 部会活動成果発表 : 3回

- ・第5回 XML コンソーシアム Week(部会成果発表会) 2006年5月22日-26日、6月20日 計6日間
 ・第8回 XML コンソーシアム Day(部会中間成果発表会) 2006年12月11日-12日 計2日間

 ・第6回 XML コンソーシアム Week(部会成果発表会) 2007年5月14日-16日、18日、21日-22日 計6日間

・延べ参加者数

総数	603社 999名
会員	404社 735名
非会員	188社 251名
プレス	11社 13名

参照 付属資料 1. セミナー、部会活動成果発表開催実績

6) 部会活動

- ・部会リーダー・ミーティング 月次
 ・部会開催 月次
 ・部会登録者数(2007年3月31日現在)

	登録者数
SOA 部会	56 社 114 名
セキュリティ部会	35 社 53 名
Web サービス実証部会	38 社 68 名
Web2.0 部会	46 社 73 名
クロスメディア・パブリッシング部会	14 社 20 名
ユビキタス・組み込み系部会	30 社 44 名
ビジネス・イノベーション研究部会	48 社 83 名
ContactXML 部会	17 社 27 名
TravelXML 標準化部会	24 社 36 名
コンテンツ利用情報標準化部会	20 社 28 名
関西部会	15 社 30 名

合計	343 社 576 名

7) 部会活動成果

・SOA 部会

原稿執筆

技術評論社出版 「エンジニアマインド Vol.1 特集記事“はじめての BPM・SOA”」

講演

Modelling Forum 2006 講演

SOA の設計論 -ビジネスで使えるサービスを目指して-

成果発表(ビジネスイノベーション研究部会と共同)

第 5 回 XML コンソーシアム Week

「絵で描く SOA」

第 8 回 XML コンソーシアム Day

「SOA ガイド」、「SOA の図的表現」、「サービス設計の Best Practice」、「初めての BPEL 体験」、「クライアントシステムの技術動向」

第 6 回 XML コンソーシアム Week

「SOA 導入進捗度モデル」、「サービス設計のベストプラクティス」、「サービス連携における非機能要件設計上の考慮点」、「SOA 環境におけるクライアントシステムの検討」

・ビジネス・イノベーション研究部会

原稿執筆

技術評論社出版 「エンジニアマインド Vol.1 特集記事“はじめての BPM・SOA”」

講演

Modelling Forum 2006 講演

SOA の設計論 -ビジネスで使えるサービスを目指して-

成果発表(SOA 部会と共同)

第 5 回 XML コンソーシアム Week

「SOA に繋ぐビジネスプロセスのモデリング」、「ビジネスプロセスを基点にしたサービス導出の試み」

第 6 回 XML コンソーシアム Week

「業務で役に立つサービスのあぶり出し方」

・セキュリティ部会

一般公開

「WS-Security 翻訳文書」

成果発表

第 5 回 XML コンソーシアム Week

「Web サービスを支えるセキュリティ技術」

第 8 回 XML コンソーシアム Day

「WS-Policy 仕様」、「Digital Signature Service を用いた、アプリケーション試作に向けて」

第 6 回 XML コンソーシアム Week

「オフィス文書と電子署名サービス」、「MPEG-21 の技術基盤について」、「ID 連携を実現する SAML 2.0 と ID 管理の最新動向」、「Web サービスのセキュリティ規格の標準化動向」

・Web サービス実証部会

一般公開

「道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービス実証実験成果資料」

実証実験

セキュリティ部会と合同で暗号化 XML データ利用技術についての課題と対策について研究実証プロジェクトを実施

WebOS 製品調査結果

WebOS 上のアプリケーション開発

WebOS 間データ連携実験

講演

「地域情報プラットフォームフォーラム」にて、Web サービス実証部会が実施した、実証実験についてご紹介

成果発表

第5回 XML コンソーシアム Week

「MAPpedia の開発状況」

第8回 XML コンソーシアム Day

「WebOS の今と今後の展望」

第6回 XML コンソーシアム Week

「Web サービス実証部会活動概要」、「WebOS とは何か? WebOS のご紹介」、「WebOS 上のアプリケーション開発の実際(eyeOS の場合)」、「WebOS 間アプリケーション連携の実際」、「WebOS のメリット」、「WebOS のビジネスモデル」、「WebOS の今後」

Web2.0 部会

一般公開準備中

「エンタープライズ・システムのための Web 2.0」提言書

講演、成果発表

第1回 Web 2.0 勉強会「なぜ XML コンソーシアムが Web 2.0 に取り組むか」

第2回 Web 2.0 勉強会「エンタープライズ・マッシュアップ！」

「魅力的なエンタープライズ・マッシュアップをどうやって考えるか」、「企業でのポータルとマッシュアップの利用について」、「エンタープライズ向けに有用そうなマッシュアップのモデル、新機能案」、「エンタープライズ・マッシュアップの実際 ~ hon.jp 等の活用」

第5回 XML コンソーシアム Week

「メタデータ活用から "Web2.0 for Enterprise" へ」、「魅力的な Web2.0 的アプリケーションをどうやって考えるか」、「企業でのポータルと、リッチ・クライアント、マッシュアップの活用」、「REST API + XSLT: エンタープライズ・マッシュアップの実際」

第8回 XML コンソーシアム Day

「Web2.0 部会の活動経緯 ~ マッシュアップコンテスト入賞作品の評価等」、「エンタープライズ・マッシュアップを実行可能にする法的メタデータ CC の活用」、「Web2.0 的機能の開発環境」、「SOAP と REST ~ メリット比較... 等」

第6回 XML コンソーシアム Week

「Ajax の開発環境」、「LL(軽量言語)によるアジャイル・エンタープライズ開発」、「Feed2.0 on Web2.0」(株式会社サンブリッジ小川浩様基調講演)、「第2回マッシュアップ・アワードのご報告と今後の方向性」、「WebAPI, マッシュアップ・アプリの調べ方 2007 上期」、「エンタープライズ 2.0 における REST と SOAP の使いこなし」、「エンタープライズのプラットフォームとして台頭する SaaS と Web2.0 のビジネスモデル」

その他

月例の部会でも最新製品やサービスの開発者による講演を実施したり、様々な開発環境、ライブラリ調査法の比較など、到底個人や1社では網羅し得ない質と量の調査結果を共有することができた。Sun x リクルートのマッシュアップコンテストの受賞作品を手分けして試用評価する、といった、月例部会としては新しい試みを手がけることもできた。

ユビキタス Web 部会

成果発表

第5回 XML コンソーシアム Week

「ユビキタス・組み込み系部会活動紹介」、「ゲスト講演: スローなユビキタスライフ」、「パネルディスカッション: Web2.0 時代のユビキタス」

部会での具体的なテーマ

「「ユビキタス」という言葉の議論」、「ネットワークに関するベストプラクティスの紹介」、「Open Autonomic Network(OAN)の紹介」、「ベストプラクティスの議論」、「組み込みハード/ソフト関係製品・サービスの紹介」、「SNS(Social Networking Site)の現状や標準化に向けての動きの紹介」、「C2talk の紹介」、「テキストマイニング・ツールの紹介」、「ユビキタス参照モデルの検討」、「今後の活動についての討論」、「本会の検討対象の議論」、「ユビキタス端末のあり方の議論」、「産学官民連携の動き、標準化、プロジェクト、学会の現状について意見交換」、「今後の活動」、「今後の活動について討論」、「Opera(ユビキタス Web 端末)紹介」、「来年度以降の活動について議論」、「W3C ユビキタス Web WG のチェアマンとの意見交換方針について議論」、「W3C ユビキタス Web WG のチェアマンとの意見交換」

クロスメディア・パブリッシング部会

成果発表

第8回 XML コンソーシアム Day

「発足から半年。初の活動状況報告」、「クロスメディア・パブリッシング関連キーワード解説」、「展示会にみるクロスメディア」

第6回 XML コンソーシアム Week

「提案書形式によるクロスメディア活用例の紹介」、「事例紹介」、「クロスメディア・パブリッシング部会の特徴と来年度計画」

その他

クロスメディア事例報告と展示会見学ツアー報告書

提案書形式によるクロスメディア説明とXML活用の紹介
部会メンバーおよび上司へのアンケート結果
JAGATクロスメディアエキスパート受験6名。全体の合格率は27%に対して部会メンバーの合格率66%。メンバーの資格保持者は7名。

・TravelXML 標準化部会

標準

TravelXML Version 1.4 仕様(勧告)

報道発表

「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」「TravelXML」のXML Schemaの標準化を全て完了、今後実用フェーズへ
～旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.4」勧告を発表～

成果発表

第5回XMLコンソーシアム Week

「旅行業界の商取引向けXML標準 - TravelXML 1.4 -の改定状況」

・関西部会

原稿執筆

技術評論社出版「エンジニアマインド Vol.2 「Web2.0的アプリケーション構築」」

成果発表

第5回XMLコンソーシアム Week

「関西部会活動報告:「こんな風に活動してますねん。」、「XMLを応用したシステム構築事例の収集と分析:「どこで使ってますねん」」、「Web2.0的地図/スケジュール共有サービスの実装:「どこで何してますのん?」」

第8回XMLコンソーシアム Day

「関西部会活動状況報告」

第6回XMLコンソーシアム Week

「関西部会活動のご紹介」、「コミュニケーション環境構築と実プロジェクトへの適用考察」、「つくりやすさ・つかいやすさを意識したWeb2.0アプリケーション実装」、「もっと調べますねん。の次なる発展への布石」

その他

XML事例収集方策検討資料

Web2.0的アプリケーション及びサービス基盤

開発者、使用者にやさしい基盤の構築

実組織コミュニケーションとTOOL活用局面検討

8) 勉強会: 20回

・Web2.0勉強会

2006年4月11日

・XMLマスター勉強会

2006年9月13日、10月31日

・XMLDB勉強会

2006年10月4日、11月2日、12月6日、12月7日、2007年1月10日、1月11日、2月5日、2月15日、4月19日、4月24日、5月24日

・内部統制勉強会

2006年12月1日、2007年1月17日、2月14日、3月14日、4月11日、5月8日

9) 勉強会参加人数・登録者数

Web2.0勉強会 162社 229名(参加人数)

XMLマスター勉強会 36社 54名(参加人数)

XMLDB勉強会 37社 71名(登録者数)

内部統制勉強会 17社 24名(登録者数)

10) 勉強会活動実績

・Web2.0勉強会

活動実績

第1回Web2.0勉強会「Web2.0! この盛り上がりはどう受け止めれば良いか」(2006年3月)

第2回Web2.0勉強会「エンタープライズ・マッシュアップ!」(2006年4月)

・XMLマスター勉強会

活動実績

XMLマスターベーシック直前対策セミナー(2006年9月)

XMLマスタープロフェッショナル直前対策セミナー(2006年10月)

・XMLDB勉強会

活動実績

第1回XMLDB勉強会・XMLDBセミナー併催

第2回XMLDB勉強会 その後マーケティング系サブグループ、技術系サブグループとして活動
マーケティング系サブグループによるXMLDBベンダー訪問

日本IBM社訪問

サイバーテック社訪問
日本オラクル社訪問
三井物産セキュアディレクション社訪問
東芝・メディアフュージョン社訪問
技術系サブグループによる月例ミーティング。
2006年12月～2007年4月の期間、月一回実施された。

講演、成果発表

第8回 XMLコンソーシアム Day

「XMLDB 勉強会、活動の意義と目標」

XML データベース事例セミナー

テーマ:急拡大する XML データベース市場を展望し、機能強化が進む製品を知る

第6回 XMLコンソーシアム Week

「XMLDB ベンダー訪問総覧」、「XML Query Use Cases を使用した XQuery 入門」、「XQuery 用例集の翻訳と成果」、

「XMLDB 勉強会・部会化への展望」

・内部統制勉強会

活動実績

活動内容の全体像整理と、検討ステップ、検討スコープの明確化を実施

ステップ1の取り組みを開始

先進ユーザの取り組み事例紹介

CONTROL2006 に関する取り組み紹介(日本オラクル、ディサークル)

内部統制タクソノミの取り組み紹介(富士通)

成果発表

第6回 XMLコンソーシアム Week

「内部統制に対し XML はどのように活かせるか」

11) 標準化仕様策定

・TravelXML Version 1.4 勧告 2006年6月1日

12) 外部組織・団体との連携(順不同)

・アライアンスパートナー

XBRLJapan

次世代電子商取引推進協議会

製造業 XML 推進協議会

社団法人 日本旅行業協会

特定非営利活動法人 UML モデリング推進協議会

特定非営利活動法人 ITS Japan

ものづくり APS 推進機構(旧 PSLX コンソーシアム)

XML 技術者育成推進委員会

社団法人 日本印刷技術協会

・標準化支援

社団法人 日本旅行業協会

・Web サービス実証実験

財団法人 日本道路交通情報センター

・ユビキタス組込み

YRP ユビキタスネットワークング研究所

・マーケティング活動支援

WS-I JSIG

OMG

DOPG

・情報交流・交換

情報処理学会デジタルドキュメント研究会

ビジネスモデル学会

・調査事業への協力

総務省 ユビキタスネット社会における新たな地域 ICT サービスの実現に関する調査事業

13) 外部主催イベントに対する協賛、後援 : 20回

・「LiM Tec 2006」 後援 2006年4月11日-12日 秋葉原コンベンションホール

主催:オブジェクトテクノロジー研究所

・「ビジネスショウ Tokyo2006」 協賛 2006年5月17日-19日 東京ビッグサイト

主催:日本経営協会・東京商工会議所

・「第55回デジタル・ドキュメント研究会」 協賛 2006年5月26日 日立製作所

主催:情報処理学会 デジタルドキュメント研究会

- ・「Interop Tokyo 2006」後援 2006年6月7日-9日 幕張メッセ
主催: Interop Tokyo 2007 実行委員会
 - ・「PSLX 技術フォーラム 2006」協賛 2006年6月7日 コンファレンススクエア + M
主催: PSLX コンソーシアム
 - ・「第56回デジタル・ドキュメント研究会」協賛 2006年7月28日 山形大学工学部
主催: 情報処理学会 デジタルドキュメント研究会
 - ・「Modeling Forum 2006」後援 2006年9月14日-15日 大手町サンケイプラザ
主催: UML モデリング推進協議会
 - ・「第57回デジタル・ドキュメント研究会」協賛 2006年9月29日 日立製作所
主催: 情報処理学会 デジタルドキュメント研究会
 - ・「ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2006」協賛 2006年10月19日-21日 日本科学未来館
主催: 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会
 - ・「Business Blog & SNS World」後援 2006年11月16日-17日 大手町サンケイプラザ
主催: IDG ジャパン
 - ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2006-2007 第1回」特別協賛 2006年11月20日 日立ソフトウェアエンジニアリング
主催: 稚内北星学園大学
 - ・「第58回デジタル・ドキュメント研究会」協賛 2006年11月30日-12月1日 松下電工
主催: 情報処理学会 デジタルドキュメント研究会
 - ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2006-2007 第2回」特別協賛 2006年12月15日 日立ソフトウェアエンジニアリング
主催: 稚内北星学園大学
 - ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2006-2007 第3回」特別協賛 2007年1月12日 日立製作所
主催: 稚内北星学園大学
 - ・「ソフトウェア ジャパン 2007」協賛 2007年1月25日 タワーホール船堀
主催: 情報処理学会
 - ・「第59回デジタル・ドキュメント研究会」協賛 2007年1月26日 九州大学 伊都キャンパス
主催: 情報処理学会 デジタルドキュメント研究会
 - ・「Developers Summit 2007」オフィシャルコミュニティ 2007年2月14日-15日 目黒雅叙園
主催: 翔泳社
 - ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2006-2007 第4回」特別協賛 2007年2月16日 富士通
主催: 稚内北星学園大学
 - ・「丸山先生レクチャーシリーズ in 東京 2006-2007 第5回」特別協賛 2007年3月13日 日本電気
主催: 稚内北星学園大学
 - ・「第60回デジタル・ドキュメント研究会」協賛 2007年3月27日 情報処理学会会議室
主催: 情報処理学会 デジタルドキュメント研究会
- 14) 外部セミナー等での講演: 4回 8名
- ・「ビジネスショウ Tokyo2006 Web2.0 セミナー」2006年5月18日 東京ビッグサイト
「Web2.0! いかにビジネスに活かすのか」
XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏(インフォテリア)、XML コンソーシアムエバンジェリスト 下川和男氏(イースト)、市川恵貴氏(日本ヒューレット・パカード)、XML コンソーシアムエバンジェリスト 野村直之氏(メタデータ)
企画・協力: XML コンソーシアム
 - ・「製造業XMLフォーラム 2006」2006年6月14日 三田NNホール
「XML コンソーシアム最新情報」
XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏(インフォテリア)
 - ・「Modeling Forum 2006」2006年9月14日 大手町サンケイプラザ
「SOA の設計論 -ビジネスで使えるサービスを目指して-」
天野富夫氏(日本アイ・ビー・エム)、牧野友紀氏(日本ユニシス)
 - ・「地域情報プラットフォームフォーラム」2007年3月20日 虎ノ門パストラル
「XML コンソーシアムの活動について」
松山憲和氏(PFU アクティブラボ)
- 15) 取材対応、原稿執筆、論文、書籍
- ・取材対応
「DB Magazine」(翔泳社)
田原春美氏(日本アイ・ビー・エム)、平野洋一郎氏(インフォテリア)、加藤哲義氏(サイバーテック)、野村直之氏(メタデータ)
「エンジニア type」(キャリアデザインセンター)
田原春美氏(日本アイ・ビー・エム)
 - ・原稿執筆
「エンジニアマインド Vol.1」(技術評論社)
ビジネス・イノベーション研究部会、SOA 部会
「エンジニアマインド Vol.2」(技術評論社)
関西部会
 - ・論文

「情報処理学会第56回デジタルドキュメント研究会論文」

- 暗号化 XML データのスキーマ検証方式の提案, 情報処理学会研究会報告デジタルドキュメント研究会, 2005-DD-56 (Jul. 2006): 中山 弘二郎氏(日立製作所), 荒本 道隆氏(アドソル日進), 大場みち子氏(日立製作所)
- XSLT を用いた暗号化 XML データのスキーマ検証方式の実装, 情報処理学会研究会報告デジタルドキュメント研究会, 2005-DD-56 (Jul. 2006): 荒本 道隆氏(アドソル日進), 中山 弘二郎氏(日立製作所), 大場みち子氏(日立製作所)

・書籍

「VoiceXML 入門からアプリ開発・応用まで」

VoiceXML 部会編著: 鯨井 俊宏氏(日立製作所), 廣田 誠氏(キャノン), 紀伊 隆弘氏(富士通研究所), 米澤 恵氏(日立製作所), 渡辺 聡氏(沖電気工業), 小野 宏二郎氏(トッパンフォームズ), 岡 正俊氏(トッパンフォームズ), 塩谷 真氏(日立製作所)

16) 調査事業協力

「総務省 コピキタネット社会における新たな地域 ICT サービスの実現に関する調査事業」協力

公募によるメンバー有志: 松山 憲和氏(PFU アクティブラボ), 荒本 道隆氏(アドソル日進), 重久 修平氏(内田洋行), 遠城 秀和氏(NTT データ), 米持 幸寿氏(日本アイ・ピー・エム), 鈴木 俊宏氏(日本オラクル), 毛利 豊氏(日本電気), 大場みち子氏(日立製作所) 推進・調整: 田原 春美氏(日本アイ・ピー・エム)

17) プレス・リリース 6回

- ・XML コンソーシアム、暗号化 XML データの利用技術の検討を開始 2006年 4月 6日
 - ・「日本旅行業協会」と「XML コンソーシアム」 「TravelXML」の XML Schema の標準化を全て完了、今後実用フェーズへ
～ 旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.4」勧告を発表～ 2006年 6月 1日
 - ・XML コンソーシアム、WS-Security の翻訳文書を公開 2006年 7月 11日
 - ・XML コンソーシアム、XML データベース技術への取り組みを強化 2006年 10月 2日
 - ・XML コンソーシアム、IT による内部統制に関する取り組みを開始 2006年 11月 22日
-
- ・XML コンソーシアムの活動成果として、国内初の VoiceXML 書籍を出版 2007年 5月 30日

18) メルマガ発行: 15回

・発行

2006年 4月 28日	2006年 5月 31日	2006年 6月 30日	2006年 7月 31日
2006年 8月 31日	2006年 9月 29日	2006年 10月 31日	2006年 11月 30日
2006年 12月 28日	2007年 1月 10日	2007年 2月 13日	2007年 3月 9日

2007年 4月 10日	2007年 5月 10日	2007年 6月 7日	
--------------	--------------	-------------	--

19) Web サイト

・コンテンツ更新(日時/随時)

セミナー等の開催案内、資料、写真
部会・勉強会開催案内
協賛・後援等のイベント案内
等の掲載

・アクセス

トップページ: 15,160 ビュー / 月平均
トータルページ: 44,532 ビュー / 月平均

20) 会員アンケート実施および結果公開

・「活動アンケート」、「XML&Web サービス普及度アンケート」、「SOA&Web2.0 関心度 / 普及度アンケート」 実施 2006年 12月

・結果公開 2007年 4月

<http://www.xmlconsortium.org/member/open/data/070403-enq.pdf>

以上

第2号議案

2006年度収支報告の件

XML コンソーシアム

収支計算書

2006年4月1日から2007年3月31日まで

(単位:円)

	予算	実績	差額	備考
1. 収入の部				
前年度繰越	5,500,559	5,500,559	0	
年会費	17,000,000	15,752,500	1,247,500	会費収入
セミナー参加費	100,000	80,000	20,000	セミナー参加費収入
雑収入	0	6,927	6,927	受取利息
収入の部合計	22,600,559	21,339,986	1,260,573	
2. 支出の部				
総会開催費	2,500,000	1,978,394	521,606	会場費、設備費、懇親会費用等
セミナー開催費	800,000	310,723	489,277	資料コピー代等
成果発表会開催費	600,000	637,364	37,364	資料コピー代等
ユーザーシンポジウム開催費	500,000	0	500,000	
HPリニューアル費	1,000,000	0	1,000,000	
サーバー運用費	1,575,000	1,611,750	36,750	サーバーホスティング費用
部会・推進委員会支援金	800,000	0	800,000	
メルマガ制作費	840,000	770,000	70,000	メルマガ制作費用
活動報告書制作費用	700,000	649,950	50,050	活動報告書制作費用
業務委託費	10,080,000	10,080,000	0	事務局業務委託費用
通信費・車両運送費	360,000	410,179	50,179	TEL/FAX 料金、郵便、宅急便等の費用
旅費交通費	240,000	74,280	165,720	事務局交通費
事務消耗品費	600,000	302,032	297,968	コピー機使用料、事務用品費用等
雑費	470,000	240,578	229,422	振込手数料、理事懇親会費用、アンケート集計費用等
予備費	1,535,559	0	1,535,559	
次期繰越金	0	4,274,736	4,274,736	次期繰越金
支出の部合計	22,600,559	21,339,986	1,260,573	

貸借対照表

2007年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
現金預金	4,274,736		
流動資産合計		4,274,736	
資産合計			4,274,736
【正味財産の部】			
正味財産			4,274,736
(うち当期正味財産減少額)			(1,225,823)
負債及び正味財産合計			4,274,736

財産目録

2007年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
現金預金	4,274,736		
普通預金 三菱東京 UFJ 銀行	4,274,736		
流動資産合計		4,274,736	
資産合計			4,274,736
正味財産			4,274,736

監査報告書

2007年 4月24日

XMLコンソーシアム
会長 鶴保 征城 殿

監 事

株式会社ジャストシステム

早瀬 雅之



ピー・シー・エー株式会社

水谷 学



私ども監事は、XMLコンソーシアム会員規約第31条に基き、2006年度(2006年4月1日から2007年3月31日まで)における会計及び業務について監査を行い、次のように報告します。

記

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査の為、帳簿並びに関係書類の閲覧をし、貸借対照表、収支計算書、財産目録について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。
- (2) 業務監査のため関係書類の閲覧をし、業務執行について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、収支計算書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法令及び規約に従って、XMLコンソーシアムの財産及び収支を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容および業務執行に関して、不正行為または法令もしくは規約に違反する事実はないことを認める。

以上

第3号議案

会員規約改定の件

XMLコンソーシアム

1. 会員規約改定について

改定の趣旨:

XML がシステムのバックエンドで普通に利用される技術となってきたことは、世の中の現象として、また昨年末の会員アンケートの結果からも読み取れる。従来、当会は XML の利活用促進を目指して普及啓発をはじめとする各種活動を実施してきたが、昨今の状況変化を考慮し、「XML の利活用を促進するために」活動することを明文化すべきと考える。

また、「XML の利活用を促進するために」を明記することにより、次々と起こる XML 関連の新しい動向・潮流に対し、活動対象分野を柔軟に取り込みながら活動を展開している当会の基本姿勢をより明確にできると考える。

現行:

(目的)

第3条 本会は日本における XML (eXtensible Markup Language 以下「XML」という)、Web サービス、SOA (Service Oriented Architecture 以下「SOA」という)、企業システムにおける Web2.0 (以下「Web2.0」という) 関連の普及啓発、アプリケーション開発及びシステム構築の推進、ならびに XML ポキャブラリーの標準化を支援する非営利団体である。

改定案:

(目的)

第3条 本会は日本における XML (eXtensible Markup Language 以下「XML」という) の利活用を促進するために、XML、Web サービス、SOA (Service Oriented Architecture 以下「SOA」という)、企業システムにおける Web2.0 (以下「Web2.0」という) 関連の普及啓発、アプリケーション開発及びシステム構築の推進、ならびに XML ポキャブラリーの標準化を支援する非営利団体である。

以上

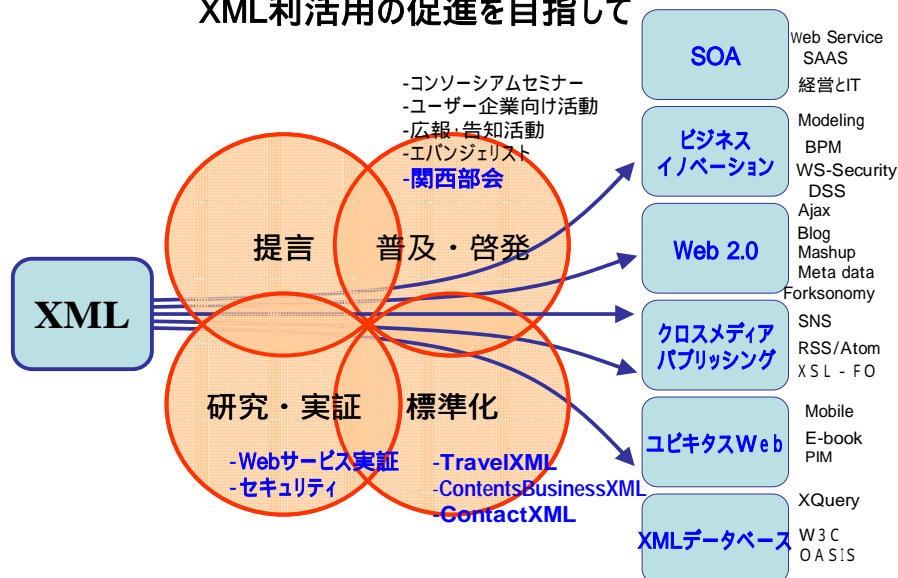
第4号議案

2007年度活動計画承認の件

XMLコンソーシアム

1. 2007年度活動方針

基本方針

XMLコンソーシアム活動 < 2007年度 >
XML利活用の促進を目指して

- XMLの適用分野の広がりに合わせて、SOA、ユビキタスWeb、企業システムのためのWeb2.0に加えて、XMLデータベースや内部統制においてどうXMLは使えるかといった新しい領域や視点を通して、XMLの利活用促進を目指す。
- 活動の柱は変わらず、以下の4つとする。
 - 普及・啓発
 - 研究・実証
 - 標準化支援
 - 提言
- XMLコンソーシアムの特質・特徴の更なる充実を図る。
 - 中立性
 - 外部組織・団体との協業
 - 一社ではできない活動、競合関係を越えた活動
 - 人的ネットワークの構築
 - 成果物の公開

■ 重点施策

1. 活動の充実

- 従来からの活動によるXML利活用の促進に加え、本年度はユーザー企業も参加し易い活動の充実を図り、XMLの利活用促進を目指す。
- 外部組織・団体との協業を通してXMLの利活用を促進し、社会に一層貢献できる活動の強化を図る。
- 利活用の状況、普及の状態を広く知らしめる方策を図る。
- 各種活動(セミナー、部会、勉強会など)を更に充実させ、世の中における一層の認知度向上を図る。
- 各部会の活動内容が判り易く、参加し易い仕組みの提供を図る。
 - ・部会名の改善
 - ・相談窓口、ナビゲータ
- 部会活動が会員企業にとって魅力あるもので、参加者にとって参加し易いように一層の工夫を図る。
- 「勉強会」の仕組みを活かし、会員企業や市場のニーズに対し迅速な対応を継続する。
- 活動報告書の発行および書籍 / 記事の執筆 / 監修を通じて、部会の成果を会員企業および外部に対し発信する。

2. 広報・告知の充実

- 広報・告知活動によって、XML利活用のメリットを広くアピールする。

XMLはシステムのバックエンドで普通に利用される技術になっているにもかかわらず、システムのユーザーはXMLを使っていることを認識しておらず、XMLの普及がICT利用者を実感されていない。

ユーザーがバックエンドを意識せずにシステムを利用するのは自然ではあるが、ICT利用者に、XMLの普及状況、XMLであれば他システムと連携可能であることの認識が広まれば、システム提供側には考えられなかった連携がICT利用者から提起され、XMLの利活用を進展させていくと考えられる。

この状況の下、普及啓発を活動目的の一つと掲げている当会は、XMLの利活用状況を広く広報・告知し、連携を始めとするXML利活用のメリットをアピールしていく。

- 広報・告知活動の充実によって、コンソーシアムの活動が十分に理解・評価されるようにし、新規/既存を問わず会員企業として参加するメリットをアピールする。
- (1) ホームページのリニューアル
 - (2) 提言書の発行、書籍/記事の執筆/監修
 - (3) 活動や成果の積極的なプレスリリース
 - (4) メールマガジンの購読数増強
 - (5) 活動報告書の発行(年1回、集大成版を作成)
 - (6) 卓越した貢献に対する表彰
 - (7) 入会案内の積極的な配布
 - (8) メディア・スポンサーとのタイアップ
3. 会員企業の増加
- コンソーシアムの活動状況や活動成果を世の中に広く理解してもらうことで、新たな会員の増加を図る。
 - 「XMLデータベース部会」を新設し、会員の要望に応えるとともに、新規会員の参加を促進する。
 - ユーザー企業向け活動を充実させ、新規会員の参加を促進する。
 - 会員の特典とメリットを強化、訴求し、新たな会員の増加を図る
4. 外部組織・団体との連携
- 協業の継続(ABC,50音順)
- DOPG
 - OASIS
 - OMG
 - WS-I JSIG
 - XBRL Japan
 - XML技術者育成推進委員会(XMLマスター)
 - YRPユビキタス・ネットワーキング研究所
 - 次世代電子商取引推進協議会(ECOM)
 - 情報処理学会(IPSJ)
 - 製造業XML推進協議会(MfgX)
 - 日本経営協会(NOMA)
 - 日本道路交通情報センター(JARTIC)
 - 日本旅行業協会(JATA)
 - ビジネスモデル学会(BMA)
 - ものづくりAPS推進機構(旧PSLXコンソーシアム)
 - ITS Japan
 - UMLモデリング推進協議会(UMTP)
 - 日本印刷技術協会(JAGAT)
- 支援・協力関係の継続
- 総務省 情報通信政策局 地域情報化推進室
- 新しい連携関係を模索・検討(ABC,50音順)
- 日本画像情報マネジメント協会(JIIMA)
 - 日本人材派遣協会
- 新しい支援・協力関係の検討

- 気象庁 総務部 企画課

体制

1. 会員制度・資格
 - 現行通りとする。
2. 組織、体制
 - 現行通りとする。
3. 部会
 - XMLデータベース部会を新設し、主として技術側からはXMLDB研究や実証実験活動に、マーケティングの側面からはXMLDBの適用分野や事例などに焦点をあてた活動を行う。
4. 勉強会
 - XML関連の旬のテーマは新規勉強会で取り上げ、会員企業と市場のニーズに迅速な対応を行う。
5. 運営委員会
 - 次期検討委員会を設け、2007年度一年をかけてXMLコンソーシアムの今後のあり方を熟考・検討の上、理事会への提案を行う。

2. 2007年度年間主要活動計画

年次総会

2007年6月 8日 第7回総会・理事会・懇親会
(2008年6月上旬 第8回総会・理事会・懇親会)

月次

運営委員会
部会リーダー・ミーティング
部会別月例ミーティング
XMLコンソーシアムメールマガジンの発行

随時

理事会
運営委員会 各担当別ミーティング
次期検討委員会
プレスリリースおよびプレス取材対応
書籍や記事の執筆活動
他団体との交流会、情報交換会 等
ホームページ更新作業

定期開催イベント・セミナー

部会成果発表会
(2007年 5月14～22日 第6回部会成果発表会(XMLコンソーシアムWeek))
2007年12月中旬 第10回部会中間成果発表会(XMLコンソーシアムDay)
2008年 5月中旬 第7回部会成果発表会(XMLコンソーシアムWeek)

随時開催セミナー・イベント

今年度は、XMLの先進技術動向とXMLの利活用をユーザーに訴求する内容をテーマとして取り上げる。加えて2008年は「XML10周年」なので、XML関連団体やメディアと協力して記念イベントを行う。なお、その時々が発生するトピックは、適宜かつ柔軟に取り上げる。

「XML10周年」記念イベント 1回(2月開催)

1998年2月、XML1.0がW3Cから勧告され、ちょうど10周年にあたる。これを記念したイベントを開催し、IT業界のみならず、学会やユーザー企業にもXMLの普及と利活用のメリットをアピールする絶好の機会としたい。なお、他のXML団体と協力して開催することも検討する。

XMLコンソーシアムセミナー 数回

XMLを切り口としたテーマを設定し、その時々最新の最新情報や活動に関連する内容を適宜ピックアップし、セミナー形式にて情報発信を行う。

テーマ候補:

- ・これからのXML関連キーワード解説 (SaaS、WebOS等)
- ・部会、勉強会活動をベースにしたセミナー
(Web2.0、XMLDB、ユビキタスWeb、クロスメディア、内部統制へのXML活用等)
- ・XMLをつかったビジネスシステムへの応用例や会員会社による製品紹介
(CRM、SCM、ナレッジマネジメント、ビジネスインテリジェンスでの活用等)
- ・標準化団体による技術動向、業界別標準化動向
(連携する他団体からの標準化技術動向、各業界(通信・放送、医療、教育、公共サービス、制御システム等)での標準化や利用動向)
- ・XML入門編
(主にソフトウェア技術者、企業のシステム導入担当者を対象にXMLの基礎技術や動向を平易に解説)

ユーザー事例紹介セミナー 1回

XMLシステムを導入したユーザー企業の利活用を深く理解していただくため、ユーザーが解説するセミナー(必要に応じてベンダーからも解説)。

ユーザー・シンポジウムをリニューアルして開催する。セミナー終了後、情報交換や懇親を目的とした交流会等も予定。

部会紹介セミナー 1回(7月開催)

部会活動を希望される方に対し、部会の設立主旨や活動実績・計画等を紹介し、部会活動にスムーズに入ってもらえることを目的としたセミナー。

関西Day 1回(6月開催)

関西部会の活動報告および活動紹介

要望により首都圏以外のXML関連団体や企業と協力して適宜開催する。

外部主催イベントへの協力 10回程度

外部主催の催事に対しセミナー講師派遣や展示ブースの出展など実質的な活動を行い、XML関連技術の普及活動を行う。外部主催のイベントへの協賛・後援・協力 等への対応も随時行う。

注:外部とは、会員会社、他団体およびイベント会社を指す。

催事とは、展示会やセミナー、企業主催のプライベートイベント等を指す。

勉強会関連イベント 4回程度

勉強会とは、XML関連の技術・製品・ビジネスに関する旬のテーマについて、既存活動の枠を越えてタイムリーに、スピーディーに情報収集や共有を行う、部会とは異なる活動形態である。このような勉強会の活動状況に応じて、イベント・セミナーを適宜開催する。

・XMLマスター勉強会:試験対策セミナーとして年3回開催

・勉強会セミナー :新規発足勉強会の活動内容を紹介・報告する。

<参考> 2007年度の月別セミナー・イベント スケジュール計画案

- ・5月…XMLコンソーシアムWeek(部会活動成果発表会)
- ・6月…第7回総会
 関西Day
- ・7月…部会紹介セミナー
 XMLコンソーシアムセミナー<XML入門編>
- ・8月…XMLコンソーシアムセミナー
- ・9月…勉強会<XMLマスター(ベーシック)>
- ・10月…XMLコンソーシアムセミナー
- ・11月…勉強会<XMLマスター(プロフェッショナル)>
- ・12月…XMLコンソーシアムDay(部会活動中間報告)
- ・1月…ユーザー事例紹介セミナー
- ・2月…XML10周年記念イベント
- ・3月…勉強会<XMLマスター(DB)>
- ・(5月…XMLコンソーシアムWeek(部会活動成果発表会))
- ・(6月…第8回総会)

以上

第5号議案

2007年度予算計画承認の件

XMLコンソーシアム

1. 予算計画

(単位:円)

	2006年度 実績	2007年度 予算案	備考
収入の部			
前期繰越金	5,500,559	4,274,736	
年会費	15,752,500	16,000,000	10万円×160社
セミナー参加費	80,000	50,000	2千円×25名
雑収入	6,927	0	受取利息等
収入の部合計	21,339,986	20,324,736	

支出の部			
総会開催費	1,978,394	900,000	資料印刷費、懇親会費用、表彰状等。 会場は会員会社会場を使用にて開催。
セミナー開催費	310,723	800,000	資料印刷費用、講師謝礼/飲み物代等： XML10周年記念イベント等を含む
成果発表会開催費	637,364	900,000	資料印刷費用、設備費等： 45万円×2回
Webサイトリニューアル費	0	2,000,000	Webサイト再構築費用
サーバー運用費	1,611,750	1,980,000	サーバーホスティング、会員データバックアップ費用： 16.5万円×12ヶ月
部会・推進委員会支援金	0	500,000	部会・推進委員会の活動支援
メルマガ制作費	770,000	840,000	メルマガ制作費：7万円×12回
活動報告書制作費	649,950	200,000	セミナー、成果発表会資料のCD制作費用
業務委託費	10,080,000	10,080,000	事務局業務委託費用：84万円×12ヶ月
通信費・車両運搬費	410,179	480,000	TEL/FAX、郵便、宅急便等の費用：4万円×12ヶ月
旅費交通費	74,280	120,000	事務局交通費：1万円×12ヶ月
事務消耗品費	302,032	420,000	コピー費用、事務用品等：3.5万円×12ヶ月
雑費	240,578	360,000	外注費：15万円、振込手数料等：6万円、理事会費用：15万円
予備費		744,736	
次期繰越金	4,274,736	0	
支出の部合計	21,339,986	20,324,736	

第6号議案

2007年度 理事 / 監事選任の件

XMLコンソーシアム

1. XML コンソーシアム役員構成

(敬称略 会社名順)

(新任):今総会にて新任

(交代):昨年度総会以降および今総会での交代

【会長】

鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)

会社名: 独立行政法人 情報処理推進機構

役職: ソフトウェア・エンジニアリング・センター所長

【副会長】

平野 洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)

会社名: インフォテリア株式会社

役職: 代表取締役社長

田原 春美 (タハラ ハルミ)

会社名: 日本アイ・ピー・エム株式会社

役職: ソフトウェア事業 エマージング・テクノロジープログラム担当 部長

【理事】

下川 和男 (シモカワ カズオ)

会社名: イースト株式会社

役職: 代表取締役社長

平野 光徳 (ヒラノ ミツノリ)

(交代)

会社名: NTTコムウェア株式会社

役職: 研究開発部 担当部長

柴垣 斉 (シバガキ ヒトシ)

(交代)

会社名: NTTソフトウェア株式会社

役職: 技術センター所長

山本 修一郎 (ヤマモト シュウイチロウ)

会社名: 株式会社NTTデータ

役職: 技術開発本部 システム科学研究所長

塩川 公男 (シオカワ キミオ)

会社名: 株式会社大塚商会

役職: 取締役 兼常務執行役員 ビジネスパートナー事業部

植松 裕次 (ウエマツ ユウジ)

会社名: サン・マイクロシステムズ株式会社

役職: ソフトウェア・ビジネス統括本部 執行役員 統括本部長

浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)

会社名: 株式会社ジャストシステム

役職: 代表取締役専務

弓削 哲也 (ユゲ テツヤ)

会社名: ソフトバンクテレコム株式会社

役職: 専務執行役 CTO兼研究所長

天野 勝之 (アマノ カツユキ)

(新任)

会社名: 東京エレクトロン デバイス株式会社

役職: 執行役員 CN事業本部 事業本部長

守安 隆 (モリヤス タカシ)

会社名: 東芝ソリューション株式会社

役職: IT技術研究所 参事

山之内 徹 (ヤマノウチ トオル) (交代)
会社名: 日本電気株式会社
役職: 知的資産R&Dユニット サービスプラットフォーム研究所長

鈴木 俊宏 (スズキ トシヒロ)
会社名: 日本オラクル株式会社
役職: システム製品統括本部 スタンダードストラテジー & アーキテクチャー シニアディレクター

大塚 仁司 (オオツカ ヒトシ) (交代)
会社名: 日本ユニシス株式会社
役職: 3D-VEセンター長

三分一 信之 (サンブイチ ノブユキ) (交代)
会社名: 株式会社日立システムアンドサービス
役職: 研究開発センタ 主管技師長

小塚 潔 (コヅカ キヨシ)
会社名: 株式会社日立製作所
役職: 執行役常務 経営企画室長

前澤 裕行 (マエザワ ヒロユキ)
会社名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
役職: 執行役常務 技術開発本部長

榊原 満 (サカキバラ ミツル) (交代)
会社名: 富士ソフト株式会社
役職: IT事業本部 副本部長

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)
会社名: 富士通株式会社
役職: ソフトウェア事業本部 技師長

上野 守生 (ウエノ モリオ)
会社名: 株式会社プロネクサス
役職: 代表取締役社長

加治佐 俊一 (カジサ シュンイチ) (交代)
会社名: マイクロソフト株式会社
役職: 業務執行役員 最高技術責任者

國井 秀子 (クニイ ヒデコ)
会社名: 株式会社リコー
役職: 常務執行役員

【監事】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)
会社名: 株式会社ジャストシステム
役職: 社長室 部長

水谷 学 (ミズタニ マナブ)
会社名: ビー・シー・イー株式会社
役職: 取締役副社長

以上

< 参考 >

(敬称略 会社名順)

【運営委員会】

イースト株式会社	藤原 隆弘
インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身
株式会社NTTデータ	遠城 秀和
株式会社大塚商会	都志 陽介
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二
ソフトバンクテレコム株式会社	岡廻 隆生
東京エレクトロン デバイス株式会社	松永 豊
東芝ソリューション株式会社	舟城 亮一
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美 (運営委員会議長)
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫、田中 一義
株式会社日立製作所	坂川 浩二郎、大場 みち子
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	蓬田 義一、河村 嘉之
富士通株式会社	太田 英紀

【担当】

情報収集発信

東芝ソリューション株式会社	舟城 亮一
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫(リーダー)、田中一義
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	蓬田 義一

渉外

イースト株式会社	藤原 隆弘(リーダー)
ソフトバンクテレコム株式会社	岡廻 隆生
東京エレクトロン デバイス株式会社	松永 豊
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美

セミナーイベント企画

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎(ユーザー事例紹介セミナー)
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身(Week、Day)
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二 (サブリーダー)
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美(ユーザー事例紹介セミナー)
株式会社日立製作所	坂川 浩二郎 (リーダー)、大場 みち子(Week、Day)
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	河村 嘉之

広報

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎 (リーダー)
-------------	---------------

日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏
メルマガ	
日本電気株式会社	島村 栄
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀
富士通株式会社	太田 英紀 (リーダー)
標準化推進委員会	
インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
株式会社 NTT データ	遠城 秀和 (リーダー)
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏

【事務局長】

富士ソフト株式会社	野田 博正
-----------	-------

【部会・勉強会リーダー】

SOA部会	天野 富夫(日本アイ・ピー・エム株式会社)
ビジネス・イノベーション研究部会	牧野 友紀(日本ユニシス株式会社)
セキュリティ部会	岡村 和英(株式会社ネット・タイム)
Webサービス実証部会	松山 憲和(PFUアクティブラボ株式会社)
Web2.0部会	野村 直之(メタデータ株式会社)
ユビキタスWeb部会	根岸 寛明(富士通株式会社)
クロスメディア・パブリッシング部会	藤原 隆弘(イースト株式会社)
ContactXML部会	藤原 章裕(富士ソフト株式会社)
TravelXML標準化部会	遠城 秀和(株式会社NTTデータ)
コンテンツ利用情報標準化部会	福永 博信(株式会社NTTデータ)
関西部会	芦田 尚人(株式会社ブレインワークス)
XMLDB部会	部会メンバー互選により後日決定
(XMLDB勉強会リーダー)	加藤 哲義(株式会社サイバーテック)
内部統制勉強会	梅田 伸明(株式会社NTTデータ)

以上